

その他の食料品製造業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	製造2課盛付室にてAが作業者Bの後を移動中に作業車Bが急に振り返った。その際肩が接触したためよろめき転倒しそうになり、顔面と腰背部をコンベア台にぶつけて打撲した。	66	100~299
3	2~3	工場内盛付室で、生産終了後の清掃作業時に、清掃に必要な洗剤を補充するため洗剤の供給機を触っていたところ、供給機のホースが抜けてしまい、ホースに残っていた洗剤（原液）が飛沫し右目に入り、右目角膜上皮剥離と右目角膜化学外傷を負った。	58	100~299
4	13~14	工場包装専用室内において、午後の作業を開始しようとして準備していた時に、同僚と振り向きざまに接触して転倒し、床に左臀部を強く打ちつけた。	67	50~99
4	15~16	工場女子トイレにおいて、退室時にトイレ用スリッパから室内用スリッパに履き替える際にトイレのスノコに躓き、前に置いてあった別のスノコの角で左足中指付け根に創傷を負い、傷口が化膿して左足が腫れた。	19	100~299
5	10~11	当社工場にて野菜の洗浄作業中、右手にザルを持ってシンクの中から野菜をすくい取っていた際、右手親指の付け根に痛みを感じた。痛みがひどくなかったため様子を見ていたが、腫れがひどくなった。	53	100~299
5	13~14	給食室において、作業台の洗浄後、沸騰したお湯で洗い流した際に、自分の長靴にもお湯が入ってしまい右足首上辺りを火傷した。その後、感染症を起こし患部が悪化した。	41	1~9
	9~	厨房内の盛付台の付近を歩いている時に、盛付台の下のキャスターに右足を引っ掛		50

5	10	けて転倒した。その時に右膝を打った為、右足膝の半月板を痛めた。	65	～ 99
5	8～9	納品整理が終わり、移動しようとした時にスノコに足が引っ掛かったので、横に置いておいたダンボール箱に思わず手を置いて身体を支えようとしたところ、箱が崩れて左に転倒し、左肩を骨折した。	68	～ 29
5	14～ 15	被災者が、スライサーにてスライスした生肉の取り上げ作業中に前屈みになったところ、側に設置していた解凍機のスライド扉を機器説明中の加害者が開けたため、扉の金具が腰に当たり、腰を負傷した。	64	～ 499
5	10～ 11	厨房内コンロの前で沸騰したお茶の入ったやかんを持って移動している時に、やかんが斜めになってしまいお茶がこぼれ、両足太ももと両腕の肘下にかかった。	47	～ 29
5	10～ 11	コンロの前で味噌を出汁の中で溶いている時に、他の従業員が落してしまったやかんが床に落ち、飛び散ったやかんの中のお茶が両足の足首周りにかかってしまった。	26	～ 29
7	3～4	洗浄室の投入側で、ステンパンチ鋼があり、お湯をかけて洗っていた際に低温火傷を負った。手袋は白手袋をしており、水疱もなく、外傷も確認できなかった。帰宅後、痛みが出て診察の結果熱傷と判定された。	26	～ 499
7	22～23	勤務終了後、更衣室で職服から私服に着替える時に、脱ごうとしたスラックスからうまく足を取り出せず、バランスを崩して右手をついて、転んでしまった。その転んだ時の衝撃で右手首をひねってしまった。翌日、痛みが酷いので、検査したら骨折していた。	69	～ 299
7	11～ 12	ある施設の給食を作る厨房内のガス台の前。ガス台上の中華鍋を次の鍋をあたためるため、すぐ右横、食器棚下段へ移動させる時。中華鍋の取っ手をフキンを使い持ち、中腰からしゃがみこんで、うつそうとしている時に、中華鍋が手前にひっくり返って、中の熱に揚げ油が自分の右足（ふともも付け根から足裏）全体にかかった。	45	～ 99
	12～	デリカ作業場にてフライヤーを清掃する際、油切り用の部品を取り外そうとしたと		30

7	13	きに、添えた右手小指の腱を断裂した。	45	～ 49
7	8～9	本社工場1階において、完成した弁当8個を入れたコンテナを手で持って運んでい たところ、盛付作業を行っている者の後ろを通りかかった瞬間、その者が振り向い たためぶつかり、仰向けに倒れ、床で腰を強打し、第1腰椎を骨折した。	58	～ 299
9	14～ 15	加工場で、包丁ケースから包丁を取り出そうとした時、落としそうになった包丁を つかんでしまい、右手薬指、中指を切創した。	32	～ 999
10	14～ 15	調理場内の排水口のゴミカゴを掃除するために、排水溝の蓋を開けようとしたとこ ろ、うまく持ち上げて引っ張れず、蓋と排水口の溝の間に指を挟んでしまったも の。	38	～ 29
12	14～15	パックしょうゆを取りに食品庫へ行った。仕込室から走って入ったときに、仕込 室入口の壁寄りに置いてあった生ゴミの入ったビニール袋を踏んで滑って転倒し、 左肘を強打した。	47	～ 29
12	6～7	前処理検品場で、トマトペースト計量作業終了後に、ペーストで汚れた長靴がベタ ベタしているのでお湯で洗い流したく、別の具材準備作業で汲み置かれた約80度 の熱湯を、別の人に頼んでかけてもらったところ、誤って左足の長靴と作業服の境 目にかかり、長靴内に熱湯が流れ込み、火傷を負った。	48	～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html